



いのち支える 映画祭

LIFE
LINK
NPO法人

第2回

それぞれの“背負い”と向き合う物語

2017年3月11日(土)

YMCAアジア青少年センター

(東京都千代田区猿樂町 2-5-5)

13:00 開演 (12:30 開場) 19:00 終了予定

一般 2,000 円 / 割引 1,500 円※

※学生、または障害者手帳
をお持ちの方

主催 NPO法人ライフリンク

お申込み方法

公式HPへアクセスし
申込フォームから送信
<http://pj2763.wixsite.com/inochi-eiga-1>

メールか電話で申込み
03-3261-4934
pj2@lifelink.or.jp
※詳細は裏面

Social
Inclusion

誰も置き去りにしない社会を創るために、私たち一人ひとりにできること

『十字架』
五十嵐匠監督

対談

福祉ジャーナリスト
町永俊雄氏

福祉ジャーナリスト
町永俊雄氏

対談

ライフリンク
清水康之代表



13:10 ~

『十字架』上映

五十嵐匠監督
2015年 / 122分 / 日本
原作 重松清



15:10 ~

トークセッション①

五十嵐匠氏 (『十字架』監督)
町永俊雄氏 (福祉ジャーナリスト)
コーディネーター
清水康之 (ライフリンク代表)



16:00 ~

『人生、ここにあり!』上映

ジュリオ・マンフレドニア監督
2008年 / 111分 / イタリア



18:00 ~

トークセッション②

町永俊雄氏 (福祉ジャーナリスト)
清水康之 (ライフリンク代表)



(c) 重松清 / 講談社
(c) 2015『十字架』製作委員会
(アイエス・フィールド ストームピクチャーズ BS フジ)

(c) 2008 RIZZOLI FILM

今回の映画祭は、「排除」と「包摂」がテーマです。現代日本社会は、弱者を「排除」する社会になってきているように思います。いじめ、パワハラ、虐待、差別などの「排除」が横行し、その結果として、多くの人が自殺に追い込まれている現実があるのです。他方、「排除」に対して「包摂」という考え方があります。包み込むこと、受け入れること、受容すること。日本社会が最も必要としているものです。私たちは、「排除」の現実を目を向けることから「包摂」への歩みを始められるのではないかと考えました。重たい現実をしかと受け止めてこそ、その先に、誰も置き去りにすることのない社会（包摂社会）の実現に必要なことが見えてくるのではないかと考えたのです。ぜひみなさんも、この映画祭を通じて、「排除」と「包摂」について一緒に考えてみませんか。



五十嵐 匠 IGARASHI Shou

トークセッション①の登場！

ー日本映画監督協会所属ー
1958年（昭和33年）9月16日青森市に生まれる。弘前高校、立教大学文学部日本文学科卒。岩波映画・四宮鉄男監督に師事。TBS「兼高かおる世界の旅」制作のため、アラスカをはじめ、世界各国を回る。以後フリー。

『SAWADAーカメラマン沢田教一の生と死』（1996）、
『地雷を踏んだらサヨウナラ』（2000）、『みすゞ』（2001）、
『HAZAN』（2003）、『アダン』（2005）、『長州ファイブ』（2007）、
『半次郎』（2010）、『十字架』（2015）



町永 俊雄 MACHINAGA Toshio

トークセッション①・②の登場！

1971年NHK入局。「おはようジャーナル」「NHKスペシャル」などのキャスターとして、経済、暮らし、教育、福祉などの情報番組を担当。2004年から「福祉ネットワーク」キャスターとして、障がい、医療、うつ、認知症、自殺など福祉課題を伝える。現在はフリーの福祉ジャーナリストとして高齢社会や地域福祉をめぐる、番組や執筆の他、各地でシンポジウムや講演活動をしている。（近著「わにの腕立て伏せ」中央法規出版）

NHK「認知症フォーラム」コーディネーター／わたしのがんnet 理事／全国社会福祉協議会 運営委員

『十字架』

【原作】重松清 第44回吉川英治文学賞受賞作「十字架」（講談社文庫刊）

【監督】五十嵐匠（2015年）／122分／日本

【出演】小出恵介 木村文乃 富田靖子 永瀬正敏 小柴亮太

背負うものが重ければ重いほど、人は強く生きていくことができる……。中2の秋。藤井俊介（フジシユン）が命を絶った。遺書によって「親友」にされてしまった真田祐（ユウ）。自分の誕生日がフジシユンの命日になってしまった中川小百合（サユ）。憔悴し、息子の思い出にすがり母親。そして信頼していたがゆえに息子の心情に気づこうとしなかった自身を責めながら、息子を見殺しにした者たちへの怒りを支えに生きる父親。背負ってしまったそれぞれの十字架の重みに葛藤し、互いに思いを交差させながら、彼らは人生を歩いていく。果たして赦しはあるのか？希望の光は射すのだろうか？そして十字架を背負った20年の人生を経て、彼らがたどりつくところとは？

『人生、ここにあり！』

2009年イタリア・ゴールデングローブ賞受賞

【監督】ジュリオ・マンフレドニア（2008年）／111分／イタリア

【出演】クラウディオ・ビジオ、アニータ・カプリオーリ

1983年、活気あふれるミラノ。労働組合員のネッロは正義感が強い熱血男だが、型破りな活動をしたために、所属していた組合から異動を命じられてしまう。行きついた先はバザーリア法により精神病院から出た元患者たちの協同組合だった。病院から出て自由な生活を送るどころか、毎日無気力にただ過ごしている彼らを見たネッロは、施しではなく、自分で仕事をしてお金を稼ぐことを持ち掛ける。“床貼り”の仕事をすることが採択され、ネッロは彼らと共に無謀ともいえる試みに挑戦する。しかし数少ない練習を兼ねた現場でも組合員たちは次々と失敗する始末。そんなある日、仕事現場でアクシデントが起こり、みんなの人生が180度回転するようなチャンスが巡ってくる…

会場アクセス



東京都千代田区猿樂町 2-5-5

JR水道橋駅徒歩5分／JR御茶ノ水駅徒歩8分／地下鉄神保町駅徒歩7分

チケットお申込み方法

【方法①】公式HPへアクセスし申込フォームから送信
<http://pj2763.wixsite.com/inochi-eiga-1>



【方法②】メールでのお申込み
✉ pj2@lifelink.or.jp

【方法③】お電話で申し込み
☎ 03-3261-4934（ライフリンク事務所：平日10:00～20:00）
※お名前、枚数、ご連絡先をお伝えください

ライフリンクとは
「生き心地の良い社会」をめざして

『いのちを守るために、みんなでつながりあっていこう』
『自殺に追い込まれていくいのちを、みんなでつながりながら守っていこう』
私たちは「ライフリンク」に、そうした決意を込めています。
めざしているのは「生き心地の良い社会」を築き上げること。
誰も自殺の脅威にさらされことなく、
自分自身であることに満足しながら生きることのできる社会の実現です。

